



指導者と保護者のサポートのおかげ

平成21年度 教育活動をたたえるつどい



【2月24日（水）；七尾サンライフプラザ】

市内の小中学生を対象にスポーツおよび文化面で優秀な成績を残した生徒・児童などを表彰する「教育活動をたたえるつどい」が行われた。中学生に贈られる「七尾市若林スポーツ賞」には56人の生徒が、小学生に贈られる「七尾市若林スポーツ奨励賞」には125人の児童が、「七尾市教育奨励賞」には1団体59人の生徒および児童がそれぞれ選ばれた。また、「七尾市学校職員表彰」に6人、「石川県優秀教員表彰並びに文部科学大臣優秀教員表彰」に2人の教員が選ばれた。受賞者を代表して、大岡良君（当時御祓中3年）が「このような結果を残せたのも指導者やサポートしてくれた保護者のおかげ」と謝辞を述べた。

ブリの解体ショー&振り舞い鍋

ミナ. クル&パトリア合同企画

七尾駅前の商業施設ミナ. クルとパトリアの合同企画によりブリの解体ショーや振り舞い鍋などが行われ、来場者を喜ばせた。ミナ. クル前では、園児による演舞や市内のよさこいチームの演舞のほか、フィットネスクラブ体験、地域活動支援センター「ゆうの丘」の太鼓演奏なども行われた。

また、今年石川県を会場に開催される第23回全国健康福祉祭いしかわ大会（ねりんピック石川2010）マスコットキャラクター「ゆーりん」も登場し、会場を盛り上げていた。



マスコット「ゆーりん」



【2月20日（土）ミナ. クル前広場】

100歳 おめでとう！

井田幸太郎さん（中島町河崎）



【2月25日（木）；介護老人保健施設 寿老苑】

中島町鹿島台の介護老人保健施設「寿老苑」で井田幸太郎さんが100歳の誕生日（明治43年2月19日生）を迎えた。誕生日当日には「寿老苑」の入所者や職員の方々による100歳を祝う会が先に開催され、七尾市からもお祝いの記念品が贈られた。

井田さんは、井田産業や中島石油などを設立した事業家でもあり、中島町商工会長や中島町議会議員を4期務めるなど地域に大きく貢献された。現在は、病気のため右手が使えず左手1本で物を持ったりしている。家族の方によると、「おかげさまの気持ちで生きてきたことが長生きの秘訣ではないか」と話されていた。

ランで作った「ひな人形」

のと蘭ノ国「ひな祭り展」

七尾フラワーパークののと蘭ノ国では、3月3日のひな祭りにあわせ、2月15日から3月3日までの期間、ランで飾られた「ひな人形」が展示された。衣装が色鮮やかなランで彩られた「ひな人形」（写真左）の展示のほか、上段に白と赤のランをお内裏様とおひな様に、下段に3色のランを三人官女に見立てて飾り付けした「ひな人形」（写真右）や水ゴケで作ったクマの「ひな人形」も展示され、来場者を和やかな気持ちにさせた。



【2月21日（日）；のと蘭ノ国】

100歳 おめでとう！

盛本藤子さん（白銀町）

津向町の介護老人保健施設「和光苑」で盛本藤子さんが100歳の誕生日（明治43年2月27日生）を迎え、100歳を祝う会が行われた。武元七尾市長もお祝いに訪れ、記念品が贈られた。盛本さんは、今でも元気な声でお話をされ、家族の方は「明るい性格で、周りを楽しませてくれる」と話されていた。また「長生きの秘訣は、今なお自分の歯で食事していること」とも話されていた。お祝いに、盛本さんの娘と姪の方が舞踊を披露したほか、盛本さんが住んでいた白銀町の住民約20人の方もお祝いに駆けつけ、盛本さんを喜ばせていた。



【3月1日（月）；介護老人保健施設 和光苑（津向町）】

農商工連携で地産地消！

能登ななおの美味しいもんシンポジウム



【2月28日（日）；七尾サンライフプラザ】

中島菜などの伝統野菜やブリをはじめとする「いきいき七尾魚」や能登カキなどの豊富な七尾の食材を再認識し、全国に発信することを目的とした「能登ななおの美味しいもんシンポジウム」が開催された。事例発表、パネルディスカッションのほか、能登鍋コンテストやブリの解体ショーなどが行われ、会場は多くの来場者で賑わっていた。中でも、今、話題の若手シェフの熊谷達也氏を招いた創作なお料理の実演に関心が高まっていた。

七尾は食の豊富な地域。農商工が連携しあって地産地消を推進しなければならないのでは。現在、能登鍋のブランド化も進めており、地域活性化のきっかけとなってくれることを願う。

夢の実現に一步踏み出す

防衛大学に合格（辻 誠心 君：矢田町）



【3月3日（水）；七尾市役所】

4月から防衛大学に進む矢田町の辻誠心君（当時七尾高校3年）が市役所を訪れ、武元市長らの激励を受けた。武元市長は「防衛大学に入学できたことは大変素晴らしい。今年は1人の入隊で少し寂しい気もするが、日本の安全安心のために、世界の平和のために頑張ってもらいたい。」と激励した。小学校3年生から自衛隊に入隊することを夢見ていた辻君は「自分に甘えることなく一生懸命頑張ります」と力強く意気込みを語っていた。幹部候補生でもあるので、表情も引き締まり、頼もしく見えた。今後も日本の平和を支える自衛隊に七尾から入隊する人が増えることを期待したい。

オセロと将棋で頭を使おう！

第27回 市子連 将棋・オセロ大会

七尾市子ども会連合会が主催する「将棋・オセロ大会」が市内の小学生約150人の参加により行われた。将棋部門では、どんな作戦で攻めようかそれぞれ考えながらコマを進めていた。中には、5分ほどで勝負が決まった対戦も。オセロ部門では、いかに多く相手の石を裏返すか真剣な表情で児童たちは対戦していた。

七尾市子ども会連合会では、平成21年度最後の行事となる「将棋・オセロ大会」に多くの参加があったことを喜んでいて、市子連の行事は体を使う行事が多いため、冬には頭を使った行事も楽しいのでは。運動嫌いな児童にも参加しやすいこともあって、今後も続けていきたいとのこと。



【2月28日（日）；いしかわ子ども交流センター】